

浜松市省エネルギー診断モニター事業

# 事例発表資料 『神谷理研株式会社』

本資料は、(一財)省エネルギーセンターが実施した令和7年度 省エネ最適化診断の報告書（令和7年度 エネルギー利用最適化診断等事業）をもとに作成しています。

# 1. 事業者の概要



## 【会社概要】

名称	神谷理研株式会社
設立	昭和41年12月
資本金	2,400万円
事業概要	各種めっき加工、塗装
代表者	代表取締役社長 神谷 武彦
主要取引先	NTN (株) (株)青山製作所 スタンレー電気(株) DOWAメタル(株) ヤマハ発動機(株) その他 合計260社ほど

## 【省エネ診断受診 事業所概要】

名称 (所在地)	本社工場 (浜松市中央区上新屋町156番地)
従業員	80名(令和7年4月現在)
事業所の規模	二階建て社屋+工場 3棟 延床面積13,028㎡

## 2. 省エネ診断を受診したきっかけ

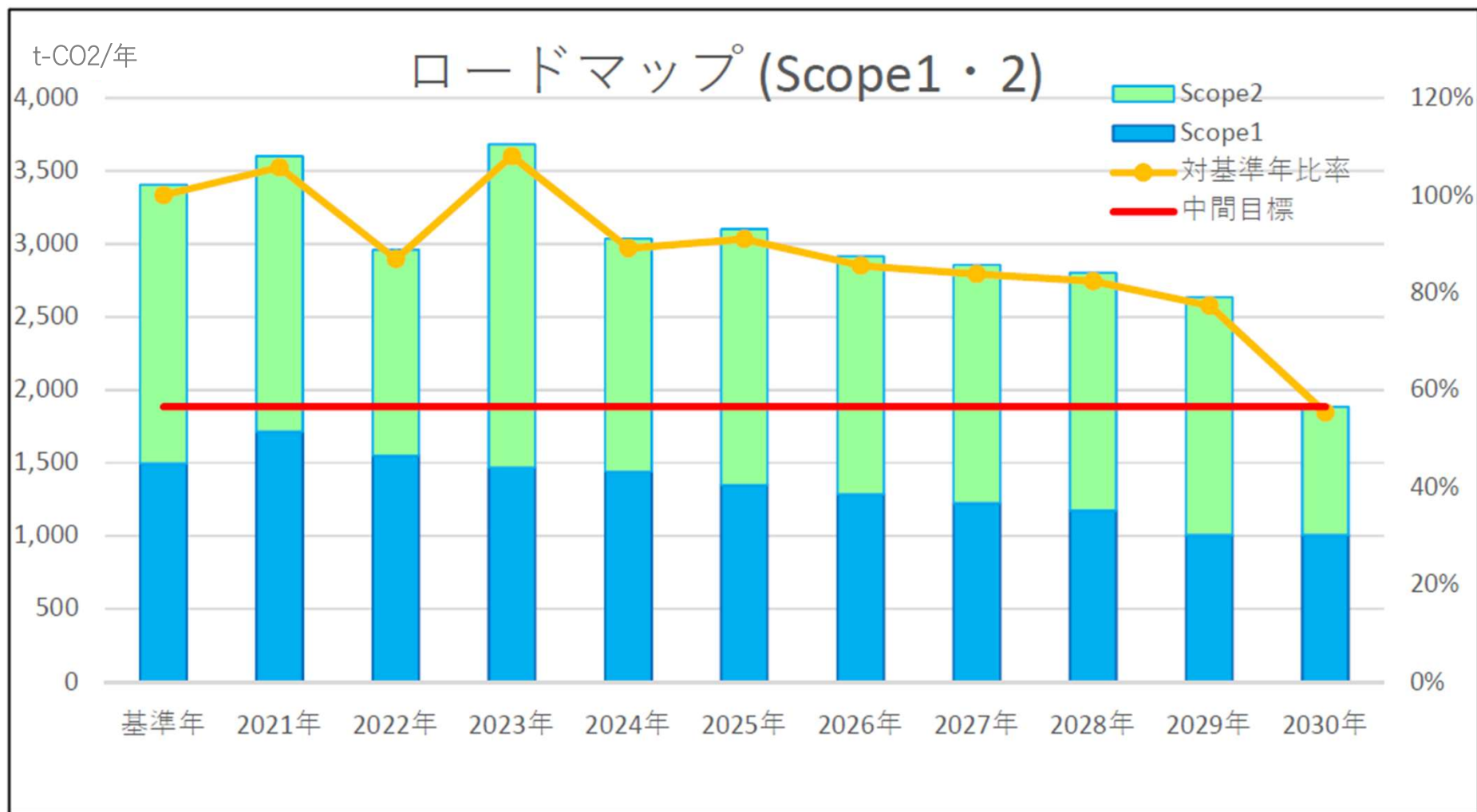


CNロードマップ目標達成のために削減アイテムを増やしたい。

自社で取り組んでいるGHG排出削減のロードマップについて、2030年の目標達成のためには削減アイテムをもっと増やすことが必要です。専門家の視点からアイテムを深掘りしてもらうため、診断を受けることにしました。

## 2. 省エネ診断を受診したきっかけ

【カーボンニュートラル ロードマップ(神谷理研(株))】



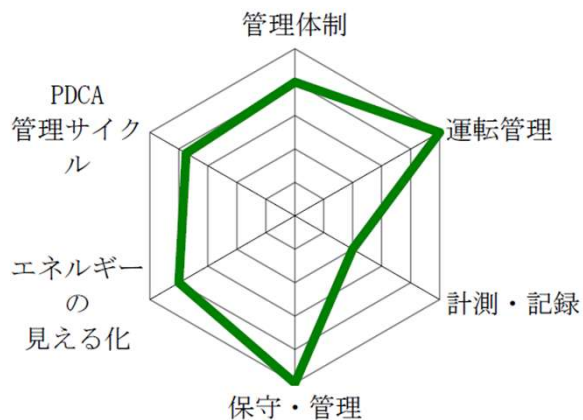
# 3. 省エネ診断の結果概要

## ① エネルギー削減ポテンシャルについて

診断の結果、原油換算で11.4kL(1.5%減)、CO2換算で27.8t-CO2(1.9%減)、金額で約188万円のエネルギー削減ポテンシャルがあることが分かりました。  
内訳として、投資不要の運用改善が2.5kL分、投資回収5年以内が8.8kL分でした。

【エネルギー管理状況について】

(省エネ最適化診断報告書P.1より)



貴事業所の平均点は4でAランク(※1)です

※1 診断実績をベースとする参考値  
Aランク：平均点4.0以上(分布の上位20%圏内)

【年間エネルギー使用状況と削減ポテンシャル】

(省エネ最適化診断報告書P.1より)

	現状	削減量	削減率
原油換算量 [kL]	779.5	<b>11.4</b>	1.5 %
CO2排出量 [t-CO2]	1,456	<b>27.8</b>	1.9 %
エネルギーコスト [千円]	105,631	<b>1,877</b>	1.8 %

削減量内訳:原油換算量(kL)

投資区分	I	II	III	合計
電気	2.5	0	0.1	2.6
燃料・熱	0	8.8	0	8.8

投資区分 I:運用にて実施可能な提案  
II:投資回収年数が5年以下の提案  
III:投資回収年数が5年を超える提案

### 3. 省エネ診断の結果概要

## ② 提案：コンプレッサ吐出圧力低減

【エアブロー設定用レギュレータ】



設備側レギュレータの設定値に対して、コンプレッサ本体の吐出設定値がやや高く設定されていました。

(例：吐出側0.83MPa→設備側0.5MPa)

生産に支障のない範囲まで圧力を減らすことで、投資等の負担なく省エネルギー化できることが分かりました。

【実施した場合の削減量】

投資金額：0 千円

省エネルギー量：11,230 kWh

**削減金額：317 千円/年**      **投資回収：0 年**

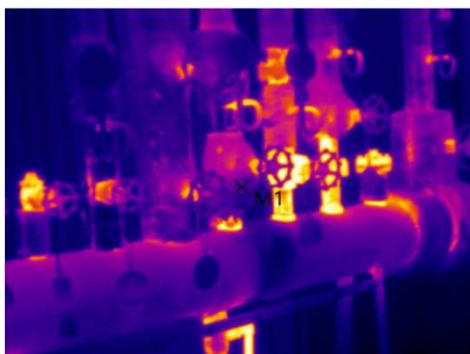
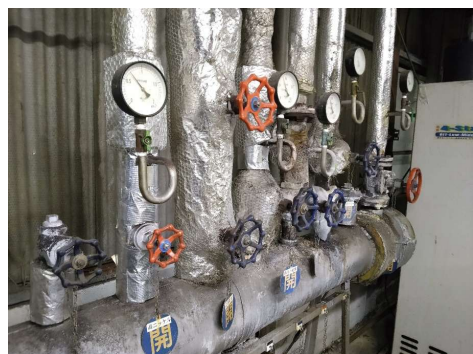
原油換算量：2.5 kL

CO2削減量：3.8 t-CO2

### 3. 省エネ診断の結果概要

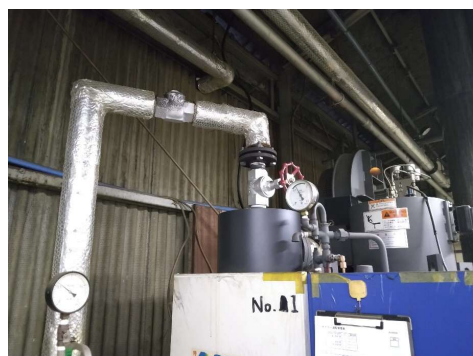
## ③ 提案：蒸気配管・バルブの保温

【未保温部分の熱放散状況】



一部の蒸気配管やバルブで、保温が未施工の部分がありました。

保温施工による熱放散の防止を図ることで、少ない投資で効果的な省エネルギー化できることが分かりました。



#### 【実施した場合の削減量】

投資金額：400 千円

省エネルギー量：5,760 L (A重油)

**削減金額：603 千円/年**      **回収：0.7 年**

原油換算量：5.8 kL

CO2削減量：15.8 t-CO2

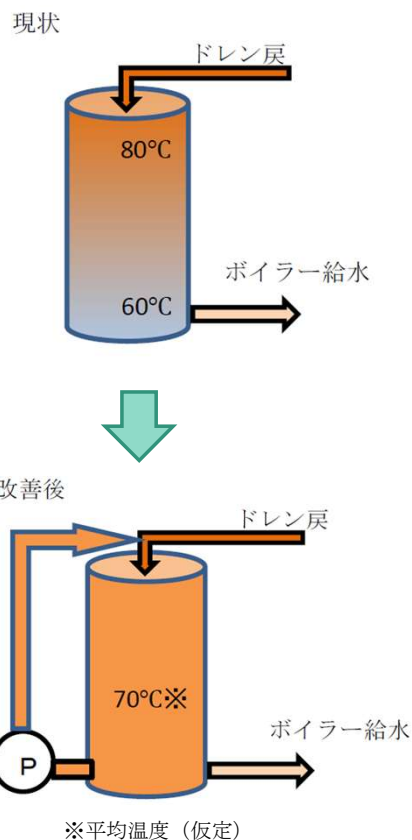
### 3. 省エネ診断の結果概要

## ④ 提案：給水タンク内温度平準化による給水加温

【給水タンク】



【改善イメージ】



ボイラー給水タンクの形状が縦長なので、上部と下部の間で温度差が生じていました。（上部：約80℃→下部：約60℃）

下部から上部へ水を循環させるポンプを設置し、タンク内温度を平準化することで、ボイラー燃料の使用を削減できることが分かりました。

#### 【実施した場合の削減量】

投資金額：400 千円

省エネルギー量：2,956 L (A重油)

**削減金額：309 千円/年**      **回収：1.3 年**

原油換算量：3.0 kL

CO2削減量：8.1 t-CO2

## 4. 今後の省エネ化（脱炭素化）に向けて

### 今回の省エネ診断を受けて

省エネ診断報告書をいただき、これまでの活動が着実に実を結んでいることがわかり活動に取り組んでいる皆の励みとなりました。同時に取組みが不足している部分があり、今後の活動の指針が明確となりました。継続的な活動には定期的な診断、評価が有効と感じています。

### 今後の省エネ化や脱炭素化に向けた意気込み

（もしくは、これから省エネ診断の受診を考えている事業者に一言）

今回の診断でコンプレッサの吐出圧力低減などの提案をいただいたので、伴走支援プログラムを利用してこれらを推進し、2030年の目標達成を目指します。

